



令和7年度（2025年）補助事業等実績報告書

令和7年11月28日

函館市長 大 泉 潤 様

補助事業者等	住所	函館市湯川町1丁目26番29号
	氏名または団体名	湯川温泉商工親和会
	および代表者氏名	会長 加 藤 隆 司
	住所	函館市湯川町2丁目18番4号
	氏名または団体名	湯川商店街振興組合
	および代表者氏名	理事長 庄 司 信 幸

補助事業等の名称 函館市商店街等持続化支援事業補助金（商業機能等強化事業）

令和7年8月12日函経商をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、令和7年10月31日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額 金 1,000,000 円

補助金等領収済額 金 1,000,000 円

補助金等領収未済額 金 0 円

補助事業等の収支決算書

収入の部

（単位：円）

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
函館市補助金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	
自己負担金	650,000	650,000	500,000	500,000	△150,000	△150,000	
合 計	1,650,000	1,650,000	1,500,000	1,500,000	△150,000	△150,000	

支出の部

（単位：円）

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
委託料	220,000	220,000	220,000	220,000	0	0	
役務費	330,000	330,000	330,000	330,000	0	0	
需用費	1,100,000	1,100,000	950,000	950,000	△150,000	△150,000	
合 計	1,650,000	1,650,000	1,500,000	1,500,000	△150,000	△150,000	

※実績報告の場合 収支差引額 0 円

- （注）
1. この様式は、補助金等の交付を申請し、または、これに係る実績報告をする場合に使用すること。
 2. 項目は、詳細に区分して記載すること。
 3. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。
 4. 内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
 5. その他必要と認めた書類を添付すること。

補助事業の効果分析報告書

補助事業区分	☐ 空き店舗等活用事業（ソフト事業）※該当する区分に ☒ ☒ 商業機能等強化事業
実施事業概要	※本年度実施したすべての補助事業の内容を記載すること。 商店街店舗の魅力発信を目的とし，市民や観光客，インバウンドの方々に広く周知するため，4か国語（中国語，韓国語，英語，日本語）の商店街フロアマップを作成。 作成したマップを湯川地区のホテルや旅館，組合店舗等に設置。（配布先一覧のとおり）
事業効果	※本年度実施事業が，どのような効果につながったのか具体的に記載すること。 組合員へのアンケート結果 ※ホテル・医療関係・銀行を除く ・40件中20件（50％）がマップを持って歩いている方やお客さんを見かけたと回答。 ・40件中12件（30％）が外国人観光客の来店・来街が「増加した」，「やや増加」したと回答。 その他，マップを持ち歩いていたお客さんと会話のきっかけに商品を購入してもらったことや，近郊店舗の説明に活用でき，多店舗への案内もスムーズに行えるようになり，湯川地区内で消費していただけるよう組合員同士でも積極的に近郊店舗への紹介ができるようになった。
事業連携	※他団体との連携があれば団体名と具体的な連携内容を記載すること。 函館湯の川温泉旅館協同組合や非加盟ホテルのフロント等にマップを設置してもらった。
改善点等	※本年度実施事業の課題と改善点・改善方法等を記載すること。 ・マップ作成後，組合員に対しアンケートを行い，効果があったと感じた組合員が約50％であったため，より効果を得られるようマップを活用した新たなイベントの実施や各店舗独自でマップを持参した方に割引等の特典を付けられないか等，理事会等で仕掛けを協議したい。 ・マップ設置場所が湯川地区のホテルや組合店舗のみとなっていることから，今後，手軽にマップを見られるよう，函館湯の川温泉旅館協同組合が設置している足湯等の観光地に掲示するほか，函館湯の川温泉旅館協同組合等のHPやSNSで周知してもらえよう依頼したい。

目標に対する検証結果	※事業計画書に記載した目標について、具体的な検証結果を記載すること。 組合員に対するアンケート結果より 【目標値】 ・マップ設置後の売上増加した店舗が7割以上 ・来客者数の増加等の効果があったと感じる店舗が7割以上 【実績】 ・マップ設置後の売上増加した店舗が約30%（40件中、12件） ・来客者数の増加等の効果があったと感じる店舗が約50%（40件中、20件） ※マップ設置場所がホテルや各組合店舗のみであったため、湯川に訪れる方以外に周知ができていなかったことが目標を達成しなかった主な理由と考えられる。今後は、市内観光スポットや地域住民にも周知できるよう SNS や町会への周知依頼など広報宣伝を強化していく。
事業全体の評価	※数値評価やアンケート等による声から拾った効果など、具体的に記載すること。 マップを作成したことで、店舗の認知度の向上につながっており、マップをもって湯川地区に訪れる方を見かけるようになったほか、多言語マップを作成したことで、外国人観光客がマップをもって湯川地区に訪れるようになったことやお客さんとの会話のきっかけになったことで商品を購入してもらえた等の効果があった。 一方で、限られた紙面内に店舗すべてを掲載したことで、店舗の詳細な情報が載っていないことや文字が小さくなってしまった等の改善すべき部分もあるため、次回以降は、紙面を増やし組合員の詳細情報を載せることやマップをお持ちした方に特典がある店を紹介する等の来街者を増やす仕組みを実施したい。 また、現在は湯川地区のホテルと各店舗にのみマップを設置していることから、協力いただける店舗等のHPやSNS等でマップを周知してもらい、更なる来街者の増加に繋がるように努める。
今後の方向性について	※商店街等において、翌年度以降に取り組むべき事業や課題を記載すること。 組合員からのマップ作成のレイアウト等の意見については、次回更新時に改善し、より良いマップを作成し、来街の促進、商店街の魅力発信を図る。 組合員に対するアンケートより、商店街に加入していてよかったと感じる点は、マップ作成等により店舗の認知度向上に繋がっていることやイベントや共同事業に参加できること等であったことから、今回作成したマップを活用した新規イベント（例：スタンプラリー）実施の検討や既存イベントの拡充、組合員同士での小規模なイベント実施を働きかけ、持続可能な特色ある商店街づくりを促進していく。 また、今回作成したマップはホテル等に設置しているのみであるが、今後、手軽にマップを見られるよう、湯の川温泉旅館組合が設置している足湯等の観光地に掲載するほか、湯川温泉旅館組合や組合員各店舗のHPやSNSに掲載できるように連携し、商店街の魅力発信をしていく。